

青年部

青年部総会開催

青年部（金田琳会長）第36回通常総会が開催されました。

- 日 時：令和4年5月20日（金）午後3時
- 会 場：オンライン（協会3階会議室より発信）
- 出席数：21名（会議室、オンラインを含む。）

決議書 39名 / 会員数 62名

青年部総会は松永宰委員の司会・進行のもと始まり、（一社）愛知県産業資源循環協会会長 永井良一氏からのお祝いの言葉を松永委員が代読されました。開会の辞を永井雅大副会長が宣言され、会長挨拶で金田会長は「コロナ禍における就任期間で、事業の開催が難しい社会情勢ではありましたが、皆様のご協力によりハイブリッド開催（会場＆Web）にて全ての4事業を開催することでき心より感謝申し上げます。



また、次期役員の皆様へのお願いとして、青年部中部ブロック協議会へ積極的に参加していただき、他県の方との交流、及びブロック内の役職を担当されることで、青年部の活動の幅が広がり社会貢献にも繋がっていきますので、続けていただきますようお願い致します。」と述べました。

議案審議は議長に砂月和貴副会長が選任され審議が行われ、全ての議案が承認され総会は終了しました。

総会の中では今期で卒業される、荒賀剛志氏（（株）相建）、柘植章仁氏（（株）中部クリーン）、伊藤良文氏（（株）マルサワ）、井戸田理氏（日活合成工業（株））の方々が紹介され、代表して柘植氏が、今後の青年部の更なる活躍と期待する想いを話されました。



今年度会長
天野晃明新会長

■第一号議案 令和3年度事業報告、貸借対照表、収支決算報告書及び剰余金処理承認

■第二号議案 役員退任及び令和4年度役員改選承認

■第三号議案 令和4年度事業計画及び事業収支予算書承認



令和4年度事業計画

1. 活動方針「交流」
2. 年頭所感

前年度の会員活性化委員会が行ったアンケート結果は非常に有意義なもので、新しい年度の運営方針に大きく影響を与える結果でした。

アンケートの回答結果例

- ・コロナの影響もあり、会える回数が減ってしまった
- ・仲のいい人同士でかたまってしまうので参加しにくい
- ・所属している委員会以外のことがよくわからない
以上のような回答をいただき、私は不安に駆られました。

会員同士のつながりが薄れてしまっている、関係を構築できずにいる人がいる。そもそも参加しにくい雰囲気になっているのではないか。しかし、そうなると事業計画を練る際に建てる柱はおのずと見えてきます。

「交流」

青年部規約第1条の（目的）にもあります通り、青年部の存在意義は協会の健全なる発展を図るため、会員相互の連携を強めることを土台としています。

青年部は本来どうあるべきかの回答は皆様それぞれがお持ちになるでしょう。“単なる交友の場ではなく、お互い切磋琢磨して日々年々に個々を高めあい、他の組織よりも一步以上先を行く上昇志向の強い各社を代表する精銳達の集団”、ベストな回答としてはこういったところでしょう。

しかし、本業で日々神経をすり減らしている精銳の皆様は、青年部の活動が面倒事や雑務に、人生の

余計な活動だと思っていませんか。そのようなネガティブな感情は人生の一時を無駄に消費していると私は思います。

少なくない年会費を拠出し青年部に所属しているのであるなら、活動が人生のプラスになってほしい、せめて楽しく活動してほしい。そう願い、今年度私は青年部会員の相互連携の強化、いわば「交流」を最重点項目とします。

聞き、話し、集まれる時には積極的にお互いの表情を読み取ることで、同じ青年部に所属しながらも話す機会の少なかった他人を仲間へと昇華させる、そのような機会を作る場所として青年部を機能させたい、私はそう思います。

3. 活動計画（今年度について）

昨年度も引き続き国の政策等により集合式の事業が行いにくい、それぞれの会社の方針として企画されても参加しにくい等の為、各会員との面会の機会が委員会のみとなってしまったという方も多くみえたはずです。

そのため、今年度の委員会は二つ（会員活性化委員会、教育情報委員会）に絞り、適時行われる委員会で面会の機会向上を図ります。

さて、先述しましたアンケートの回答結果では以下の意見がありました。

- ・会議の開始時間が遅い（おおよそ18時開始）
- ・会議の開催会場が遠方（協会3階会議室）のことが多く参加しづらい

以上を踏まえ、今年度の委員会では様々な時間と場所で開催していただくことを提案いたします。

4. 事業計画

会員活性化委員会

会員活性化委員会では個人間での交流を重視した委員会とし、対企業の枠を越えた個人間の距離を縮めることを目的とします。



新役員の皆様

委員長：渥美 和男

委員長は初めてなので至らない点もあるかと思いますが精一杯やりますので宜しくお願い致します。

今年度の委員会目標としては会員同士で、青年部らしく心も体も動かしてより良い関係になれる委員会にしていきたいと思います。

幹事：富田 康祐

教育情報委員会

教育情報委員会では企業間の情報交換を重視した委員会とし、企業間の情報をお互いにより共有できることを目的とします。

委員長：伊藤 彰英

企業間の交流を深めることを目的とし、お互いの会社をもっとよく知る機会を設けることを主な活動としていきたいです。委員会の活動を通して何か一つでも自社へ持ち帰っていただけるような内容を計画していきたいです。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

幹事：遠山 大樹

年末懇親会準備委員会

年末懇親会準備委員会では年末の懇親会を企画、運営をいたします。

委員長：天野晃明

メンバー：役員会

年間スケジュール

- 5月：第36回通常総会 中部ブロック総会（愛知県担当）
- 8月：中部ブロック事業（静岡県担当）
- 10月：会員活性化委員会全体会議
- 11月：教育情報委員会全体会議 カンファレンス（岐阜県担当）
- 12月：年末懇親会
- 令和5年2月：中部ブロック事業（三重県担当）

■令和4年度・5年度 役員

会長	天野 晃明	岡崎技研（株）
副会長	松永 宰	（株）三洋商店
副会長	宮下雄一郎	（株）石川マテリアル
会務	東久保翔平	（有）愛知環境センター
会計	高木 宏教	（株）富士石油商会
委員長	渥美 和男	（有）渥美商会
委員長	伊藤 彰英	丸う運輸（株）
幹事	遠山 大樹	（株）環境むかい
幹事	富田 康祐	（株）富田商店
監事	加藤 秀夫	（有）O.W.M
監事	丹羽 康介	（株）鈴鍵